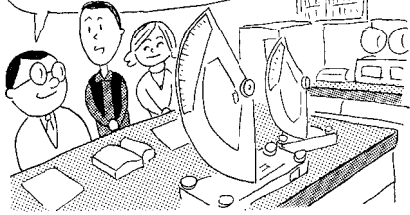
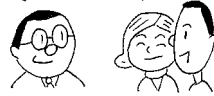


ピリング試験

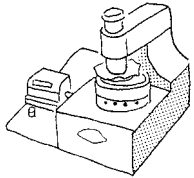
毛玉(ピリング)の試験機には、ICI型とアピアランス型があります



セータのように全体に出来る毛玉はICI型試験機を用います

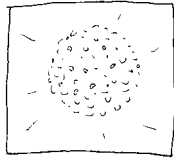


⑨ →



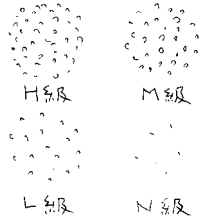
ガラガラした板が20回、回転します。(コンクリートの上で水着が擦れるような状態です)

⑩ →



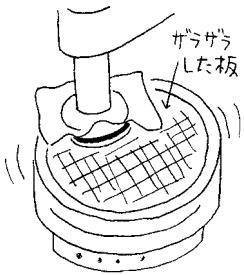
試料を丸棒から外します。

⑪ →



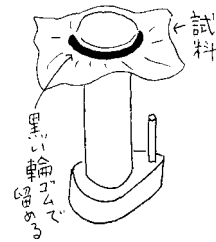
試料の摩擦面に出来た毛玉の状態をJISの標準写真と比較判定します。

⑧ ↑



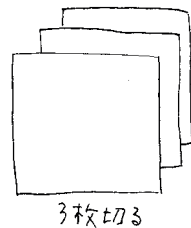
表面のガラガラした板の上に試料面が当たるように丸棒を載せます。

← ⑦



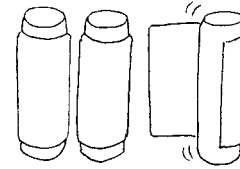
丸い棒状の器具の先に試料を取りつけます。

← ⑥ [アピアランス型]



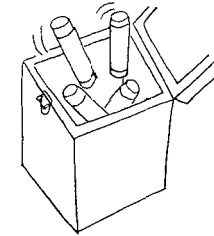
同じように生地を四角に切って今度は、

① [ICI型]



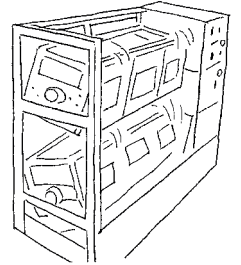
まず、試験する生地を四角に切ってゴム管4本に巻きつけます。

→ ②



4本を内側がコルク貼りの箱の中に入れ、

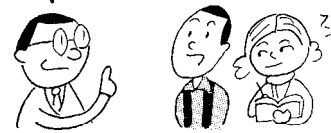
→ ③



試料のニットの場合は5時間箱を回転させます。

⑫

ICI型では5級、4級、...1級の順に結果が悪くなります。アピアランス型ではN級、L級、M級、H級の順に結果が悪くなります。



↓

4本の中でのゴム管が互いにぶつかり、壁に当ります。毛玉が出来ます

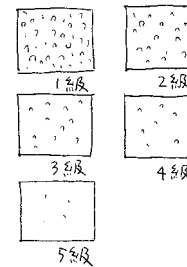


← ←



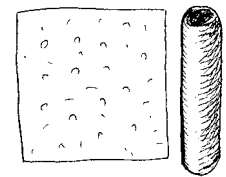
毛玉一つ、水着の縫い目部分に出来る毛玉はアピアランス型を用います

⑤ ←



JISの標準写真と比べて5級から1級の範囲で判定します。

④ ←



試験が終わったら、箱の中からゴム管を取り出し、生地を外します。